

しきなん

敷島南小学校
学校だより No.3
令和3年4月27日
学校長 丸茂和也

♪ ご協力ありがとうございました♪ ～初めての授業参観より～

4月21日(水)から23日(金)の3日間にわたり、授業参観が行われました。感染症予防を図りながらの実施をする必要があったことから、実施の可否や方法について学校で協議を重ねてきました。地区ごとに3日間に分けて分散型で行う、健康観察や来校の手段についてもさまざまなお願いをさせていただく中での実施となりました。

おかげをもちまして、三日間とも混乱無くスムーズに行われました。いつも明るく一生懸命に取り組む本校の子どもたちですが、この3日間は、特に張り切って学習に励んでいたように感じます。

生き生きと学ぶ子どもたちの姿はまさに学校の宝です。今後ともこの宝がより一層輝きますように努力をしていきたいと思えます。また無事に授業参観を行うことができるのも決して当たり前のことではなく、有り難いことと感じています。

改めまして実施に関してご理解、ご協力いただきまして感謝申し上げます。今後とも学校の教育活動に際し、変わらぬ温かいご支援、ご協力いただければ有り難く存じます。何とぞよろしくお願いたします。



♪「心」を含む漢字から♪



左の写真は、3の3佐野先生の学級の掲示からいただいたものです。漢字にはそれぞれが成り立ちや意味がありますが、「聴く」は人や物の言葉を耳と目と心で聴く、「応じる」はそれぞれの場面や人、状況に合わせて、それにこたえた行動をする、「認める」は、人や物があることに気づく、じっと見て受け入れる、それぞれ心を動かす様子を表します。

人は心のありかたが大切に、それによって未来を拓くことができる、そんな思いを日頃より感じています。努力すればできるようになる、みんなといっしょならできそう、子どもたちにそんな思いを感じてもらうことは、学校の中で大事にしたいことです。「がんばれ、人は心が原動力だから」の竈門炭治郎さんの言葉のように、自分や人の良いところを見つめ、希望をもって未来へ向かう心を育てていきたいという気持ちを新たにしているところです。

♪一秒の言葉②♪

前回の①～⑤の()に入る言葉は以下の通りです。

一秒の言葉

- (はじめまして) この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある
- (ありがとう) この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることができる
- (がんばって) この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある
- (おめでとう) この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることもある
- (ごめんなさい) この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある
- (さようなら) この一秒ほどの短い言葉が 一生の別れになる時がある

一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命一秒 人は生きる



「たった一秒の短い言葉でも、人の心を温かくすることができます。しかし、同じ一秒でも相手を傷つける言葉もあります。ふだん当たり前に使っている言葉こそ大切にしなければいけないし、心を込めて使いたいものです。人からどんな言葉をかけられたら温かくうれしい気持ちになるのかよく考えて、会話をしたいものですね」との談がありました。私たちが子どもたちと共に行う教育活動も、保護者及び地域の皆様との連携も言葉を介しています。心通う温かい言葉のやりとりを心がけていきたいと感じているところです。

♪今、体育館は♪

右の写真は、先週体育館に入ったときのものです。ステージが全てなくなって、全体が赤い鉄の骨組みだけになっていました。先日ある6年生が自分たちは新しい体育館で卒業式ができるので楽しみだ、と話してくれました。体育館がなくて不便なこともありますが希望もたくさんあります。新しい体育館の完成を楽しみに、じっくりと待ちたいと思います。



本校ではホームページを通じて、学校生活の様子を伝えています。ホームページの「お知らせ」のコーナーに最新の様子が掲載されています。是非アクセスしてみてください。

<http://www.city-kai.ed.jp/smscho/>